

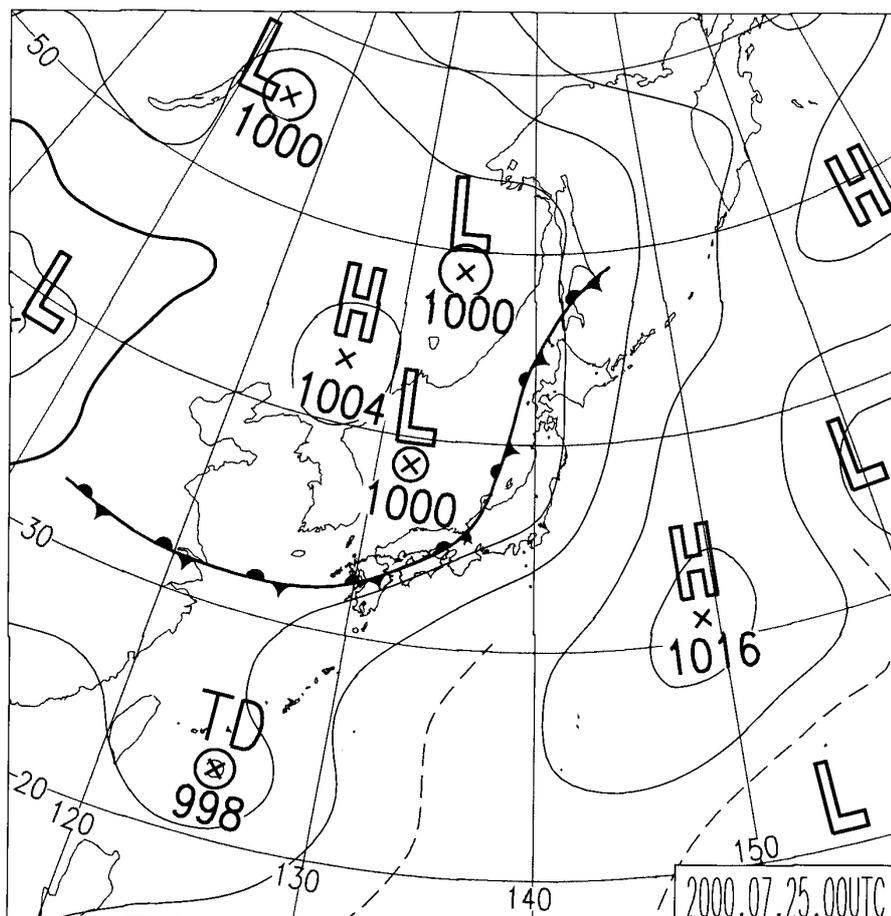
(2) 平成12年7月24日から25日にかけての大雨災害  
気象概況

24日から25日にかけて、日本海から対馬海峡を経て東シナ海に伸びる前線がゆっくり南下した。福岡県ははじめ前線の南側にあたり、太平洋高気圧の周辺部を回る湿った空気が南から流れ込んだ。このため24日昼頃から25日朝にかけて雨が降り、特に24日午後から夕方にかけて県北部で大雨となった。

2日間の総降水量は、九千部山113mm、頂吉110mm、福岡102mm、行橋90mm、飯塚86mmなどであった。

日降水量の多い地点(起日)は、頂吉107mm(24日)、福岡102mm(24日)、九千部山97mm(24日)、行橋87mm(24日)などであった。

また1時間降水量は、福岡38mm(24日15時)、頂吉33mm(24日15時)、九千部山30mm(24日17時)、八幡28mm(24日15時)、太宰府24mm(24日16時)などであった。



地上天気図 平成12年7月25日09時 (福岡管区气象台)

